

学生用

大学（中学校・高等学校・栄養教諭 教職課程履修者用）
短大（中学校・栄養教諭 教職課程履修者用）

教職課程『履修カルテ』説明資料

卒業まで継続作成するため、この資料を大切に活用してください

「履修カルテ」は、MUSES 履修カルテ〈自己評価シート入力〉画面で作成します。

教員免許取得希望者は、教職課程科目の履修を始めてから、「教職実践演習」（教職必修）の授業終了までの間、各自で『履修カルテ』を作成しなければなりません。

「教職実践演習」（卒業学年 後期科目）は、教員として必要な知識・技能の修得を確認する総まとめ科目で、教職課程科目の履修履歴と教職実践力の修得実態を踏まえて内容を構成するため、『履修カルテ』を活用していきます

*「教職実践演習」には、履修要件が設定されています（要件を充足しなければ履修できない。『履修便覧』参照）

* 教職課程履修の手続き終了後（栄教は9月の合否発表後）から利用できます

【注意】履修カルテには、皆さんの個人的情報が記載されますので、取り扱いには万全の注意を払っていたくよう、先生方にお願いしています。皆さんご自身も、履修カルテの保管については、注意してください。

I 「履修カルテ」の作成・利用のスケジュール

時 期	学 生 が す る こ と	備 考
① 今年度～卒業までの各前期・後期 各期の授業終了後から	自己評価を、科目ごとに入力する (p.2～p.3-A 参照)	後日、教員（担任・研究指導教員・実習引率指導教員・教職実践演習担当者等）が参照する
② 今年度～卒業までの各前期・後期 各期の授業成績発表の 2週間後から	授業担当による成績評価および指導コメントを参考する (p.2～p.3-C・D 参照)	成績評価が70点未満の者にコメントの記載がある
③ 今年度 9月末まで	課題事項Iを入力する (p.2～p.3-B 参照)	学生の入力後、教員がコメントを入力するので、学生は10月以降参照する
④ 教育実習実施年(大学4年・短大2年) 教育実習の開始前 (事前ガイダンスまでに)	課題事項IIを入力する (p.2～p.3-B 参照)	学生の入力後、教育実習開始までに、教員がコメントを入力するので、学生は参照する
⑤ 教育実習実施年(大学4年・短大2年) 教育実習終了後すぐ (教員への終了報告までに)	課題事項IIIを入力する (p.2～p.3-B 参照)	学生の報告から1か月後までに、教員がコメントを入力するので、学生は参照する
⑥ 大学4年・短大2年(後期) 「教職実践演習」の初回授業	履修カルテを提出する* (p.2～p.3-③ 参照)	教育実習が大学4年(短大2年)の後期の場合は、課題事項IIIは未入力で提出する
⑦ 大学4年・短大2年(後期) 「教職実践演習」終了後 1週間以内	課題事項IVを入力する (p.2～p.3-B 参照)	2月中に教員がコメントを入力するので、学生は卒業式までに参照する
⑧ 大学4年・短大2年(3月) 卒業式までに	完成した履修カルテをファイルに綴じる (p.2～p.3-③ 参照)	ファイルを各自で準備。 卒業前に、出力して、卒業後の教育活動に役立てる

*「教職実践演習」の初回授業日に授業担当者に以下の様式で提出

提出様式 ・・・ A4で出力。左上1か所をホチキス留め。左側にパンチで2穴あける
(履修カルテは、教職実践演習の成績評価に10点配点されます)

II 「履修カルテ〈自己評価シート〉」の入力について

*主に中学校教職課程の説明となっていますが、栄養教諭も準じて入力してください。

MUSES の履修カルテ〈自己評価シート〉から、A〈自己評価〉と B〈課題事項〉(I ~ IV) を随時入力して作成します。C・D〈科目的履修状況〉で、各科目の成績、教員からの指導コメントを確認することができます

*教員の指導コメントを参照した後で修正することもできます

*編入学・所属変更した学生は、旧所属での履修履歴を加味しながら作成してください



A〈自己評価〉

自己評価シート入力 / 自己評価		年・クラス・賞	4年Aクラス22番
学生所属	文学部日本語日本文学科	学年	2020年度
学生氏名	武庫川 花子	学籍号	2017771
入学年数	2020年度	履修登録年月	2020年4月

[1] 必要な資質能力についての自己評価

【目的】この履修カルテ〈自己評価シート〉は、教職を志す皆さんの教職課程履修状況を把握し、必要に応じて、履修をサポートすることを目的としています。教職課程の科目を確実に履修され、必要な単位を修得することはもちろんですが、実際に教師になるうえで必要な実践力が身についているか、確認しながら、着実に教師への道を歩み抜けましょう。

【方法】学期ごとに、単位の修得状況と併せて、「確認指標」に即して5段階で自己評価を行ってください。記入は卒業まで継続的に行いましょう。自己評価を行う際には、関連する授業科目の内容やその評価面及びコメント・教育実習記録・教育実習振り返りシート・提出レポート類・学校ボランティア体験内容等を参照しましょう。

◆課題事項を入力する場合は以下を押してください。

[2] 教職を目指す上で、課題と考えている事項

◆科目の履修状況を確認する場合は以下を押してください。

<履修状況>高専一編 (国語) <履修状況>高専二編 (国語)

履修カルテを印刷して保存
(印刷サンプルA・B)

③

[印刷画面へ](#)

B〈課題事項入力〉(I ~ IV)

自己評価シート入力 / 課題事項入力			
学生所属	文学部日本語日本文学科	年・クラス	4年Aクラス22番
学生氏名	武庫川 花子	学籍号	2017771
入学年数	2020年度	履修登録年月	2020年4月

(1) 全角400文字まで入力可能です。
(2) 該当項目にコメントを入力し、「保存」ボタンを押してください。

【2】教職を目指す上で、課題と考えている事項

【目的】教職課程を履修される皆さんが、1年次または2年次からの履修開始段階から、教育実習の事前・事後の段階、そして「教職実践演習」の修了段階において、教職を目指す上での課題について自覚し、教職実践力のさらなる向上を支援するためのものです。その時々のあなたの思いや体験、課題を記録していきます。学校教育センター委員の先生、クラス担任の先生、教職課程担当教員の先生、教職課程の先生方からのアドバイスやコメントを参考しつつ、教職への道を力強くステップアップしていきましょう。

【学生コメント欄】に入力後「保存」をクリック

I 教職課程を履修するに際して... <1年次> または <履修開始年>

【学生コメント欄】 更新日: 2019年1月1日

今は自分が人にものを教えるということに対して不安でいっぱいです。しかし、どう教科指導、生徒どのように向かっていくのか、またどう生徒をサポートしていくのかをしっかり学びたいです。

いろんな先生方のお話やアドバイスを受けながら、生徒の支えとなるような教師を目指したいです。

【アドバイス・コメント欄】 締切教員:

【アドバイス・コメント欄】には、教員のコメントが記載されます

保存

② B 課題事項入力画面へ

教職を目指す上で、課題と考えている事項を400字まで入力。入力内容は、教員（担任・研究指導教員・実習引率指導教員など）が、確認します

①

②

③

C〈科目的履修状況〉(全授業科目)

履修カルテ参照 / 科目的履修状況	
履修登録年月	2020年4月
履修GPA	3.46

授業担当者のコメントが記載されます。授業担当者には、成績評価が70点未満の場合に記載をお願いしていますが、すべての科目・受講者に対してコメントが記載されているわけではありません（コメントは成績評価ではありません）

該当免許状取得のための科目的履修状況がわかります。履修した年期、成績、入力があれば担当者コメントが参照できます

履修カルテを印刷して保存
(印刷サンプルC)

A <自己評価シート> 入力画面に戻る

D 個別科目成績参照画面へ

該当科目的履修年期・成績・（入力があれば）担当者コメントが参照できます

D<科目的履修状況>(個別科目)

成績評価欄	成績評価欄	成績評価欄
履修年期	西点	西点
書道Ⅰ	2.0	松本 美恵
書道Ⅱ	2.0	松本 美恵
	2020年 93	2020年 93
[2019/12/22 松本 美恵]		

III 留意事項

- ◆「教育実習の記録」、教職課程科目的レポート類、ボランティア活動体験報告書など、教職関係の資料は、ファイルに綴じておきましょう
- ◆先生方に指導を受ける場合は、必要に応じて履修カルテを印刷して持参してください
- ◆平素より、履修カルテをこまめに入力して作成するように心掛けましょう。入力時期を過ぎても入力可能ですが、入力年月日が入ります。スケジュールを確認して入力しましょう
- ◆卒業後、教員免許取得のために科目等履修する場合や、編入学・所属変更する場合には、本学だけでなく他大学でも履修カルテが必要になるので、在籍中に必ず印刷して保管しておくこと

『履修カルテ』利用のポイント

- 1 学習課題を探る客観的なデータとして利用する
教職課程全体の学びの成果を入力し、授業や学生生活を通して、何を学んだか、得意不得意分野など、教職に就く上で、自らの課題を明確にし、今後どのような学習が必要なのか考えて学習する
- 2 教職課程科目的履修状況を把握し、計画的な履修に利用する
履修便覧の教職課程「履修モデル」「到達目標」を参考に、必要科目を履修し、『履修カルテ』で履修状況を確認して計画的に履修する
- 3 教員採用選考試験の際に問われる教員志望動機や大学で学んだことなど、『履修カルテ』の作成により、自らの教職への歩みと学びを確認でき、自信を持って回答できるようになる

IV 印刷サンプル

サンプル A・B<自己評価シート>【自己評価】【課題事項】

履修カルテ参照<自己評価ノート>

隠す

学生所属	文学部日本語日本文学科	年・クラス番	1年Aクラス番
学生氏名	〇〇 〇〇	学籍番号	〇〇〇〇〇〇〇〇
入学年度	2015年度	履修要件年月	2015年4月

【1】必要な実験力についての自己評価

課題事項へ移動する

印刷

【目的】
この履修カルテ<自己評価シート>は、教職を志す皆さんの教職履修履修状況を把握し、必要に応じて、履修をサポートすることを目的としています。教職課程の科目を確実に履修され、必要な基盤を修得することができるようですが、実際に教師になるうえで必要な実験力が身についているか、確認しながら、実際に教師への道を歩み続けてもらいましょう。

【方法】
この履修カルテは、学期ごとに、単位の修得状況と併せて、「確認指標」に即して段階で自己評価を行ってください。諸実験対策表員の先生の指導に従って、記入用紙的におこなってください。自己評価を行った際には、開設する授業科目の内容やその成績評価及びコメント・教育実習評価・教育実習評価シート・提出レポート等、学校ボランティア活動内容等を参照しましょう。

大項目	中項目	確認指標	主な対応科目 名称: なまえ 実験活動: 正規 実験以外の活 動を含む)空白 付に全角角文 字まで入力可 能	自己評価		具体的な課題等につき自由に 記述してください(全角200文 字まで)
				1年次	2年次	前
学校教育に ついての理 解【使命感 や責任感、 教育的愛 好】	教職の意義 【使命感 や責任感、 教育的愛 好】	教職の意義や教員の 役割、業務内容、子ど もたちに対する義務を理解 していますか。	教育入門	3		教育者とは、教員だけなく 保護者や地域の人々など 様々な人が当たるるので、 教師が大切だ
	教育の理 念・教育史・ 思想の理解	教育の基礎知識、教育に關 する歴史、思想についての 基礎知識、知識を 覚得していますか。	教育原理	4		
	学校教育の 社会的・制 度的・経営 的・理解	学校教育の社会的・制 度的・経営的・理解に必 要な基礎知識、知識を 覚得していますか。	人権教育の理 念と方法			
子どもについての理解 【生徒理解 や学級運 営】	心理・発達 論の理解 【生徒理解 や学級運 営】	子ども理解のための必 要な基礎知識を覚得して いますか。	教育心理学	3		
	学習集団の 形成	学習集団形成に必要な 基礎知識を覚得して いますか。	学習実習指導 (中)	3		今まで学ぶ機会がなかった が、陸寄をもつ子供の母親の 話や大変さを切り、窮屈な 状態を身につけたいと思っ た。
	子どもの状 況に応じた 対応	しりの、不登校、特別 支援者などについ て、個々の子どもの特 性や状況に応じて対 応の方法を理解して いますか。<例: ホランティ ア活動>	生徒指導・通路 指導			教科書に陆寄に起つた内容 が載っていて、生徒指導も連 絡指導も難しいと思った。多く の指導方法を知りたい。
	他者の立 場の観察 の受容	他者の意見やアドバイ ス・意見を傾け、理解や 協力を通じて課題に取り 組むことができますか。 <例: ①介護実習の教 育実習と大学生会、 クラブ・委員会・学友 会活動・クラブ活動・ 学生生活のボランティ ア活動>	体育祭応援団	3		
				4		積極的に話をして、先 輩と仲良くなれるか、先輩 の考え方、気持ち、課題への 姿勢を十分に受け止めることができた。

科目区分

【2】教職を目指すうえで、課題と考へている事項 自己評価シートへ移動する

【目的】教職課程を修得される皆さんのが、1年次又は2年次からの履修開始段階から、教育実習の事前・事後の段階、そして「教職実習演習」の修了段階において、教職を目指す上での課題について自覚し、教職能力のさらなる向上を実現するためのものです。その時々のあなたの思いや体験・課題を記録して下さい。学習教育セイタ・委員会の先生、クラス担任の先生、実習引率担当の先生、教職課程科目の授業担当の先生方からのアドバイスやコメントを参考しつつ、教職への道を強くステップアップして下さい。

1 教職課程を修得するに際して… <1年時> 又は<履修開始年>

【学生コメント欄】 更新日: 2020年5月20日

学校に行かなくても授業動画や塾で学ぶことができるようになった現代社会では、学校で学ぶことの意味や価値が希薄化している。そこで私は生徒自身が「学校に行って学びたい!」と感じられるような授業をするために、必要な知識やテクニックを4年間で身につけたい。また、生徒と向き合い、生徒に寄り添うことのできる教員になりたいと感じる。

【アドバイス・コメント欄】 確認教員:

II 教育実習を終にして…

【学生コメント欄】 更新日: 2020年5月20日

サンプル C<科目の履修状況>

照<科目的履修状況> [MUSES]

1/3 ページ

照<科目的履修状況>

文学部日本語日本文学科	年・クラス番	3年Cクラス26番
〇〇 〇〇	学籍番号	〇〇〇〇〇〇〇〇
2015年度	履修要件年月	2018年4月
3.72	該当科目GPA	3.73

Aは、このカルテに記載された科目を対象としています。
Bは赤字、Cは青字

照<科目的履修状況> 大項目/中高一様(国語)

印刷

【目的】
Aは、自己評価シートの作成に際してこのカルテを標準的に活用するとともに、自らの現状と課題を確
かめ、自己評価シートへ記載します。
Bは、行う担当教員をはじめ、教職指導に関わる全教員が個々の学生を適切に指導するため、学生
の履修につき関連データを把握し、教職指導に活用することを目的としています。
Cは、「教科に関する科目」「「教科又は教職に関する科目」の履修状況並びに授
業題等のコメントが、記載されます。コメントについては、担当者の判断により全ての履修学生につ
いてはあります。コメントの有無により既述評価上何らかの不利益が生じることはありません。

は、自己評価シートの作成に際してこのカルテを標準的に活用するとともに、自らの現状と課題を確
かめ、自己評価シートへ記載します。

学校教育センター

0798-31-0243/0798-31-0297

平日 9:00-17:00

土曜 9:00-13:05

(11:15-12:15 閉室)

令和3年4月改訂